

女子学生による通信

Kobe
Pharmaceutical
University
Press

Vol.177

2023 Autumn Winter

表紙のヒト

3年 松井美緒さん

「薬学」を学ぶ魅力は、医薬品の効果・特性を化学式から学び、理解を深めていくところにあると考えています。また、化学や生物学、医学など幅広い分野を横断的に学べるのも魅力的で、さらにその中で得た知識がつながり、より高度な次元の学習へとステップアップしていくところももちろんです。将来の進路は検討中ですが、研究者の道にも興味があるので、4年次からスタートする研究室での活動にも真摯に取り組んでいきたいです。

ききょう通信

Contents

- 03 SDGs 人にも、地球にもやさしい時代が求める新教育棟です。
- 05 建設中の新教育棟に、おじゃましました。
- 07 社会で求められる「力」を育む「ロジカル思考演習」。
- 09 教えて先生！ 研究内容をカンタンに
- 11 神薬カンケイ
- 13 ANOTHER FUTURE
- 15 Front Runner
- 17 2022年度授業評価アンケートの結果報告
- 18 2023年度卒業研究優秀賞受賞者／2022年度ベストティーチャー
- 19 「薬剤部長」として、医療の現場で生きていくこと。
- 20 兵庫県立病院で「薬剤部長」として活躍する卒業生

題字について
1970年10月に「ききょう通信」は創刊されました。
当時の金子太郎学長が書き下ろされた題字を
177号のタイトルとしました。



大学認証評価
神戸薬科大学は、公益財団法人大学基準協会による
大学評価基準に適合していると認定されています。



6年制薬学教育プログラム評価
神戸薬科大学は、一般社団法人薬学教育評価機構が定める
「薬学教育評価 評価基準」に適合していると認定されています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、更新は1年延長されます。

敷地内にあった樹木を蘇らせて有効活用。
屋上緑化も採り入れながら。

2024年春に開設の新教育棟には、SDGsの達成に向けたさまざまな設計やデザインが採用されています。例えば、「メインホールのカウンター」や「学生支援センターのカウンター」といったさまざまな場所で、新教育棟の建設に伴い伐採せざるを得なかった樹木を造作材として有効活用しています。敷地内に生えていたクヌギやクスノキ、センダンなどの樹木を資源として蘇らせ、伐採木の再利用へとつなげています。また、複数の場所で「屋上緑化」にも取り組み、ヒートアイランド現象の抑制を図ります。人にも地球にもやさしい新教育棟。開設に向けて今着々と工事が進んでいます。



学生支援センターのカウンター。木目が不ぞろいなところも個性のひとつで、木材がこちよ空間を演出します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

今回の建物および工事工法においてSDGsの取り組みとして以下の項目を採用し、CO₂排出量低減に取り組みます。

- | | |
|--|--|
| <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニング対応AV設備 ・メインホールでの書籍配架 ・レンタルラボの設置 | <p>5 ジェンダー平等を實現しよう</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーフリートイレの設置 |
| <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ節水型器具の採用 | <p>7 エネルギーを安全にそしてクリーンに</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・照明昼光センサーによる自然光の取り入れ ・空調電力のピークカット |
| <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・照明昼光センサーによる自然光の取り入れ ・低炭素型コンクリートの採用 ・屋上緑化 | <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・屋上緑化 ・伐採木の再利用 |

人にも、地球にもやさしい
時代が求める新教育棟です。



WORKSHOP

みんなで創ろう、私たちのキャンパス。

ワークショップのその後。

今回、新教育棟の設計・施工を担当されている竹中工務店様による案内のもとで、竣工前の建物を見学しました。メインホールや各種講義室、実習室はもちろん、今年の3月に開催されたワークショップ「みんなで創ろう、私たちのキャンパス」で、学生・教職員から集めたアイデアを反映した自習室やお手洗いなども案内していただきました。「学生たちが活発に交流し、たくさんの選択肢の中から、自分の居ごちのよい場所を見つけられること」をひとつのテーマにしたこの新教育棟には、「学生たちがこころよく籠る」ための多数の工夫が。講義室や実習室では教員の講義をさらに聞き取りやすく、よりアクティブなグループワークを実現するための設計やシステムが取り入れられています。また、さまざまな場所に反映された学生たちのアイデアも魅力的で、新教育棟をさらに輝かせていくでしょう。

新教育棟のいたるところに、
 学生たちのアイデアと意見が
 採用されています。



大講義室には、大学ではめずらしい4Kのプロジェクターを設置。椅子はひとつの机につき2席のものを採用し、左右どちらからでも座れるように配慮しています。また、「椅子のカラーリング」には学生たちの意見を反映しています。



個別に区切られた机が並ぶ自習室。机の色や高さに学生たちの意見が採り入れられています。



お手洗いは壁の色やデザインだけでなく、パウダールームの下に収納を設置するなど、設計面にも学生たちのアイデアが採用されています。



ワークショップの様子は「ききょう通信 vol.176」をご覧ください。



新教育棟の設計を手がけた建築士の方に直接ご案内いただきました。学生たちに寄り添ったさまざまな工夫には、とても驚かされました。

建設中の新教育棟に、おジャマしました。

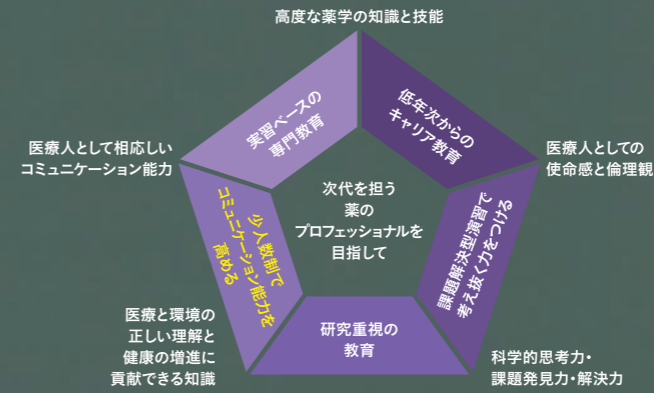


社会で求められる「力」を育む「ロジカル思考演習」。

私が担当教員を務める「ロジカル思考演習」では、例えば抗がん剤の一種である「ビンブラスチン」を取り上げ、論理的思考力やコミュニケーション力を鍛えながら、基礎から臨床までつなげた薬学の知見を養います。また別の回では、「科学技術と社会」をテーマにした推理ゲームを取り入れることで、研究倫理や特許、リスク管理をはじめとした、薬学や医療に携わっていくうえで求められる多様な視点や知識を育てていきます。学年を超えてたくさんの学生と活発に議論を交わし、またそれを楽しみながら、薬学生として社会に向けて大きく成長していきましょう。



医薬細胞生物学研究室 土反伸和教授



医療人として社会で活躍するためには、高い専門性に加えて、論理的に考える力や他者と協働する力が求められます。ロジカル思考演習では、グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて、課題発見力や課題解決力、論理的思考力、さらには文章を読解する力や表現力を磨きます。また、1・2年生、2・3年生が同じクラスで課題に取り組むこともロジカル思考演習の大きな特徴のひとつです。上級生は下級生をリードし、下級生は上級生から教わりながら学ぶ学年横断型の演習により、「縦のつながり」を意識しながら学ぶことで、社会人に大切な「人間関係を築く力」も育みます。

回数を重ねるごとに、より活発に発言ができるようになり、プレゼンテーションや資料の精度もどんどん高まっています。また、授業で学んだ知識を再確認する機会にもなっていて、さらにそれらの知識を後輩たちに教えることで、毎回大きな成長を実感しています。

新免 葵さん / 2年次生

2年次生の先輩たちと一緒に学べるのは、ロジカル思考演習の大きなポイントだと感じています。先輩たちからまだ授業で学んでいない知識を教わり、また、ディスカッションを交わしていく中で、「一年後の自分・目指すべき姿」をはっきりとイメージすることができました。

坂部 真優さん / 1年次生

より高いレベルで「調べ学習」に取り組めるところが魅力的です。複数のソースから情報を集め、議論を深めながら、発表を行うことで知識の定着を実感しています。また、先輩たちの存在も刺激的で、質問の仕方や資料のまとめ方など、さまざまなことを教わっています。

三宅 恒さん / 1年次生

どの薬品を取り上げるにしても、さまざまな視点からディスカッションを行うため、より深く理解することができます。また、学年を超えてたくさんの学生たちと協力しながら、答えを導き出していく中で、コミュニケーション力や主体性を養うことができました。今後も積極的に取り組んでいきたいです。

岩本 昴太郎さん / 2年次生



研究テーマ

核酸医薬品の開発

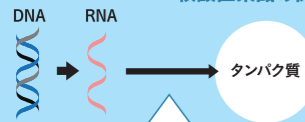
カンタンに説明すると

遺伝子に作用する新しいタイプの薬「核酸医薬品」の基盤技術の開発に取り組んでいます。

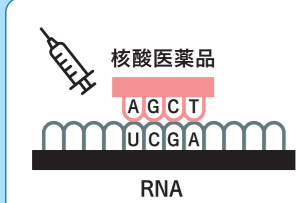
核酸医薬品とは？
遺伝子に作用することで、「病気の原因となるタンパク質」の合成を抑制でき、また、「不足しているタンパク質の合成」を促進できる薬です。

そのため

生命分析化学研究室では、化学と生物の知識・技術に基づき、核酸医薬品の開発におけるさまざまな課題の解決に向けて取り組んでいます。



生物の遺伝情報は、DNAの塩基配列(A:アデニン、G:グアニン、C:シトシン、T:チミン)として受け継がれています。塩基配列には、生体内で働くさまざまなタンパク質の設計図が含まれています。細胞がタンパク質をつくる時は、DNAの遺伝情報(塩基配列)のうち必要な部分をコピーしたRNAをたくさん作ります。その後、RNAが持つ遺伝情報がアミノ酸へと翻訳されてタンパク質がつけられます。



核酸分子はもう一つの核酸分子との間で、GはC、AはT(RNAの場合はU:ウラシル)とペアを組みます。これを塩基対と呼びます。核酸医薬品はそれ自身が核酸からなる物質ですので、RNAに対して塩基対をつくることで働きかけます。



持続性を高める

医薬品の分解を防ぐ



安全性を高める

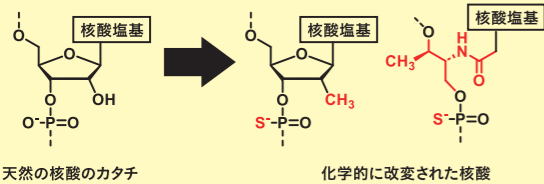
副作用を抑える

核酸医薬品の開発においては、「生体内での安定性の向上」や「副作用の抑制」、「毒性の軽減」、「標的核酸への効率的な送達」など、さまざまな課題を解決する技術が求められます。

新しいデザインを見つけるために

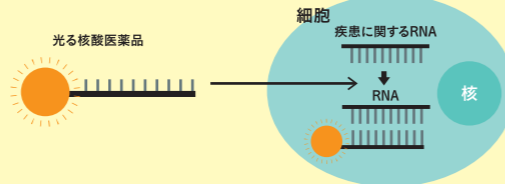
核酸のカタチ

例えば、天然核酸とは違うカタチを持つ核酸を使った核酸医薬品をデザインすることで、生体内での安定性を高めたり、副作用を抑えることができます。



細胞の仕組み

例えば、蛍光色素で光るように工夫した核酸医薬品をデザインすることで、核酸医薬品が細胞内で機能する仕組みを調べることができます。また、疾患マーカーとなるRNAを検出する分析システムの開発にも役立ちます。



この研究は、社会にどのような影響を与えるの？

現在主流の医薬品は低分子化合物、抗体タンパク質などですが、核酸医薬品はこれらとは異なる仕組みで作用するので、医薬品の選択肢が増えることとなります。医薬品開発が難しかった疾患に対しても、治療薬の開発が可能になりますし、さらに個人の遺伝情報を読み取る技術が発展すると、「遺伝情報にあわせたオーダーメイドな医薬品」の開発が期待できます。また、医療に貢献するための取り組みだけでなく、研究を通じてこれまで知られていなかった生命の仕組みの一端を明らかにすることも目指しています。「生命の不思議に対する科学的な知的な好奇心を刺激すること」ができるように、研究を発展させたいと考えています。



生命分析化学研究室
研究内容や
担当科目はこちら



教えて先生! 研究内容をカンタンに

生命分析化学研究室 神谷 由紀子 教授

どんな研究をしているの？それが、どんな未来につながるの？
今回は、生命分析化学研究室の神谷先生を訪れ、
現在研究室で取り組んでいる研究内容について
教えてもらいました。

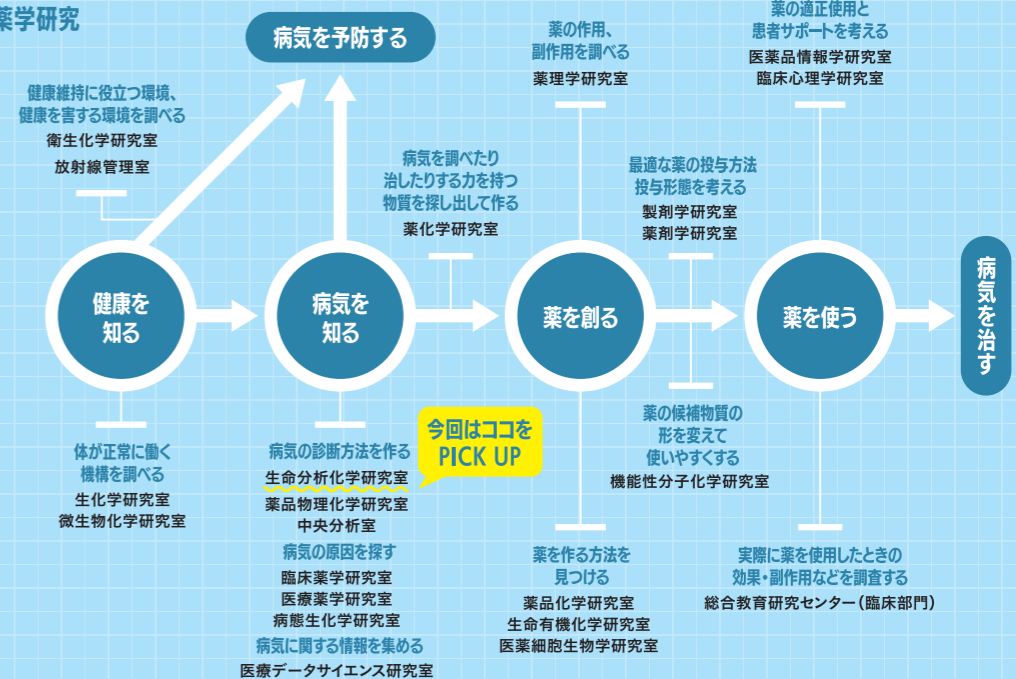


Profile Professor Kamiya Yukiko

2008年より自然科学研究機構 分子科学研究所のIMSフェロー、2009年より同研究所の特任助教に就任。2012年より名古屋大学 大学院工学研究科で助教を務め、2013年からは同大学のエコトピア科学研究所の講師に就任。さらに2016年からは同大学 大学院工学研究科で准教授を務める。2023年より神戸薬科大学 生命分析化学研究室の教授に就任。「核酸医薬品の開発」、「生命分子設計の探究」をテーマにさまざまな研究に携わる。



神戸薬科大学における 薬学研究



※一般の方の理解を促すため、正確な表現ではない部分もあります。

神薬カンケイ

卒業後もずっと続いて、
深まっていくやさしい輪。



卒業生
柴谷 恭佑さん

坂根 稔康 教授

卒業生・恩師

今年4月、薬剤師国家試験向けのオンライン塾「YAKU/BASE」を立ち上げた柴谷さん。「最短合格」をキーワードに、学生一人ひとりに最適化したスケジュールのもとで日夜指導と向き合っています。そのような柴谷さんに、学生時代の恩師である坂根教授から、「研究室では、手よりも口が活発でしたね(笑)。でも柴谷さんが音頭をとると、不思議と学生たちはひとつになっていました。そのリーダーシップを存分に発揮して、必ず事業を成功させてください」とエールが。卒業後も続いて、深まっていくやさしい輪。これも、神戸薬科大学ならではのステキなところですよ。

神薬カンケイ

頼れる先輩、楽しい後輩。
青春のコンビネーション。



2年
隅田 悠介さん

1年
上野 愉仁さん

サッカー部

部員同士の仲がすごくいいところが、神戸薬科大学サッカー部の一番の魅力です。そう語る隅田さんは2年次生ながらキャプテン。後輩の上野さんについては、「いつも明るくて、部員同士の架け橋になってくれています。そして、すごく努力家!初心者ながらメキメキと成長しています」と隅田さん。それに対して上野さんは「隅田さんは甘いマスクの爽やかな先輩です。いつもたくさんアドバイスをくださって、ますますサッカーが好きになりました。勉強の相談にも乗ってくださり、本当にありがとうございます!」と語り、彼らの楽しそうな活動風景が目に見えました。

海を超え、言語や文化を超え、活躍する卒業生の姿。

薬剤師として約10年、カナダの薬局で勤務。そんなめずらしい経歴をお持ちのマイルバガナム 恵美さんに、大学卒業後から現在までの半生を語ってもらいました。

「海外への憧れは幼い頃からずっとあったんです。薬学生でありながら、航空会社への入社試験を受けたら(笑)。卒業後は調剤薬局で働きながらも、その想いは消えることがありませんでした。そこから数年後、恵美さんにある大きな出会いが、「カナダ人である夫と出会ってからは、『夢をかなえたい』という思いがどんどん強くなっていったんです。この決断が人生のターニングポイントになりました」。そして旦那さまとカナダに渡った恵美さんですが、すぐに「カナダでの薬剤師免許」の取得へと踏み出したわけではありませんでした。

「海外移住の夢がかなった途端、これから何をすればいいかわからなくなっただけです。さらに子どもも生まれて、なかなか外で働けないなら、じゃあ、カナダで薬剤師免許を取ろうと」。当時住んでいたブリティッシュコロンビア州で薬剤師として働くには、カナダの薬剤師試験機関である「PEBC」に登録後、審査試験に合格し、そこからブリティッシュコロンビア大学の薬学コースを3か月間受講します。そして、MCQと呼ばれる筆記試験と実技試験、最後に州の法律試験に合格したら、晴れて薬剤師として働くことができます。「勉強面については日本人のコミュニケーションを作って、みんなで助け合

いながらがんばりました。そこには神戸女子薬科大学の卒業生の方もいらっしやっして、彼女は今もカナダで薬剤師として働いているんですよ。」

そしていよいよ、約10年にわたるカナダでのキャリアをスタートさせた恵美さんですが、当時の日々をこう振り返ります。「カナダでは病気になるたら病院じゃなくて、まずはかかりつけの薬剤師を訪ねるんです。薬剤師の裁量が大きい分、責任も伴います。がとてもしやがいのある毎日でした。また麻薬中毒者専門の薬局で働いたこともあり、麻薬問題について深く考え、学べる貴重な時間になりました。ほかに日本との違いで言えば、良くも悪くもカナダの人は感情をストレートに出すんですよ。苦情をスバズバ言ってくる人も多くて(笑)。そういうカルチャーショックも、私を成長させてくれました」。異国の地で力強く人生を切り拓いた恵美さん。帰国後はカナダ大使館で勤務するかたわら執筆活動にも取り組むなど、マルチな活躍を続けています。

「私は決して優等生ではありませんでしたが、興味のあることには常にアンテナを張っていました。勉強にアルバイト、友達付き合い合いに、恋愛にと忙しい毎日だと思いますが、『今学んでいること』『昔からやりたかったこと』『これからやりたいこと』を常に意識してがんばってれば、この3つがしっかりとつながり、必ずステキな未来が待っています。もちろん、私もまだまだこれから。

HISTORY

- 1995 神戸薬科大学を卒業。
- 2004 勤務先の調剤薬局を退職。
- 2005 カナダでの薬剤師免許を取得。
- 2006 現地の薬局で薬剤師として勤務を開始。
- 2014 「日経DI」にて『日本とカナダの薬局見聞録』の連載をスタート。
- 2015 自身初の書籍『カナダで薬剤師になる!』を出版。
- 2019 帰国後からは、カナダ大使館の領事部で勤務。



一緒に何度でも夢をかなえましょう」と在学学生にエールを送られました。いつも新しい目標に向かって、突き進む続ける恵美さんの自由でチャレンジングな人生は、まだ始まったばかりです。

カナダで薬剤師になる!

アマゾンKindleストアにて販売中。自身の経験を交えながら、「カナダでの薬剤師免許」取得までのプロセスを紹介しています。



ANOTHER FUTURE



MYLVAGANAM EMI

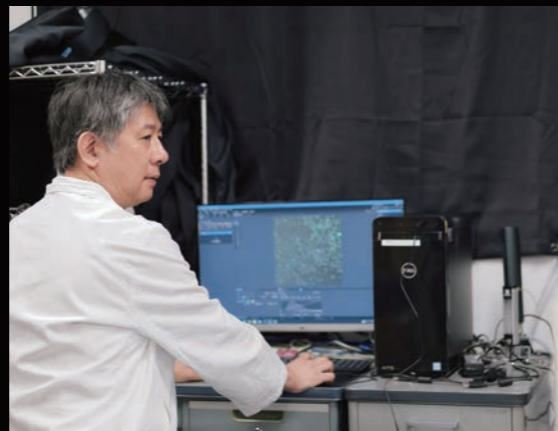
マイルバガナム 恵美さん

神戸薬科大学卒業後、調剤薬局でキャリアを積んだのち、旦那さまとカナダに移住。「カナダでの薬剤師免許」を取得し、約10年にわたり、薬剤師として現地の薬局に勤務。2014年より「日経DI」で『日本とカナダの薬局見聞録』を連載中。

生体内分子と特異的に作用する新たな化合物を開発することで、病態や生命機能と関連する現象を見だし、解明していく。

私の研究では、化学的手法を縦横に活用して、病態や生命現象を明らかにすることを目指しています。生命現象は、本質的には化学反応のつながりから成り立っていますから、生体内分子と特異的に作用する化合物を新たに開発して活用することで、「世界中で誰も見たことのない生命現象」を解明することにつながります。また、この手法によって病態と関連する現象を新たに見出すことにより、独自の創薬標的の同定につながることから、創薬化学研究も行っています。

このような研究活動を通して、化学を基盤としながらも、特定の分野の枠組みにとらわれない広い視野を持ち、研究開発だけでなく臨床の現場でも活躍できる人材の育成を目指しています。



世界で誰も見たことのない生命現象を解明する。

OKUDA KENSUKE HISTORY



『冒険する頭—新しい科学の世界』西村 肇 筑摩書房

高校時代

本が好きで、時間があればジャンルを問わず片っ端から読んでいました。「地元岡山を離れて広い世界を見てみたい」という思いがとて強く、進学を機に上京が決まった際には、開放感に満たされたものでした。



大学時代

漕艇部に入学して、練習に没頭しました。修士1年の夏まで選手を続け、インカレや全日本選手権でもファイナリストでした。部活中心の生活だったので、勉強についてはあまり優秀な学生ではありませんでした。



大学院時代～留学時代

当時指導いただいていた先生の異動に伴って共立薬科大学に移り、その後、助手として岡山大学に就職。学位取得後は、アメリカのイェール大学に留学する機会もいただきました。若い頃の経験はすべて私の財産です。

薬化学研究室
奥田 健介 教授

Front Runner

神研プロジェクトの最前線で活躍する教員たち



薬化学研究室
研究内容や担当科目はこちら



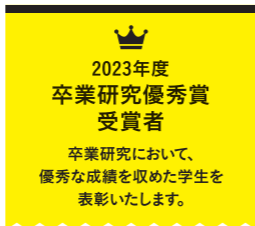
機能性分子化学研究室
赤松 園加



薬化学研究室
池永 千裕



薬品化学研究室
一文字 彩乃



2023年度
卒業研究優秀賞
受賞者

卒業研究において、
優秀な成績を取った学生を
表彰いたします。



生命分析化学研究室
藤田 麻利衣



医薬細胞生物学研究室
安田 彩乃



薬品物理化学研究室
中田 百香



生命有機化学研究室
石橋 和也



薬剤学研究室
安留 輝



製剤学研究室
西山 実那



微生物化学研究室
菊本 杏



薬理学研究室
荻野 泉



生化学研究室
及川 琢人



病態生化学研究室
角田 純希



衛生化学研究室
野村 昂希



臨床薬学研究室
若山 奈央



医療薬学研究室
布施 里紗



総合教育研究センター
小畑 友紀媛



中央分析室
吉川 達也



放射線管理室
川本 奈々帆



医薬品情報学研究室
酒木 紀穂



社会科学研究室
向 裕季菜



臨床心理学研究室
柳生 摩美

2022年度ベストティーチャー

配当学年	講義名称	開講時期	教員名
1年	生薬学	後期	西山 由美
1年	数学トレーニング	後期	内田 吉昭
2年	免疫学	後期	中山 喜明
2年	分析化学II	前期	大山 浩之
3年	放射線管理学	前期	安岡 由美
3年	創薬物理薬剤学	前期	坂根 稔康
4年	臨床薬剤学I	前期	大河原 賢一

QUESTIONNAIRE RESULTS

2022年度 授業評価アンケートの結果報告

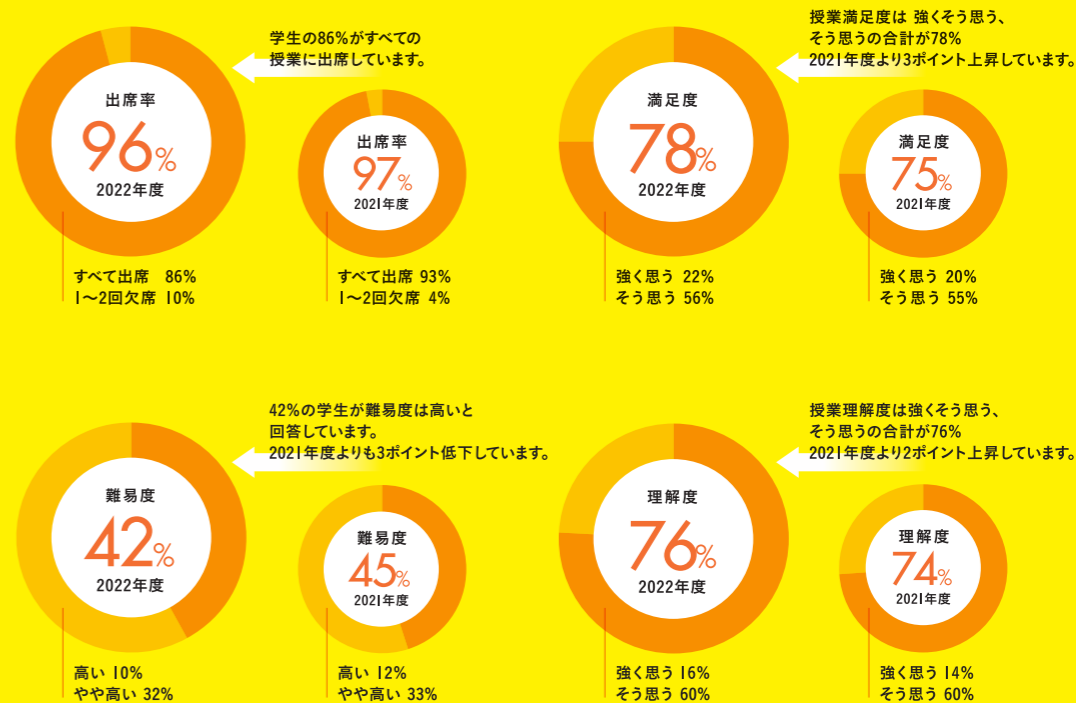
本学では、授業の改善を目的とした学生による「授業評価アンケート」を実施しています。
「授業評価アンケート」とは全学年を対象に行い、評価対象となる教員は専任教員および非常勤講師です。

2022年度授業評価アンケートの集計結果と分析結果の概要を報告します。

FD委員会

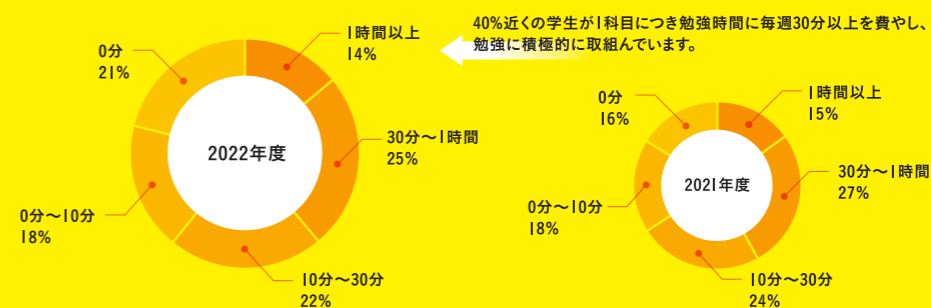
調査結果の要約

授業について



勉強時間について

授業科目に対する予習・復習時間は？



※FD…Faculty Developmentの略称。
教員が授業内容や方法を改善し、
教育の質を向上させるために行う
組織的な取り組み

兵庫県立病院で「薬剤部長」として活躍する卒業生

「薬剤部長」として、
医療の現場で生きていくこと。

学長 北川 裕之



Fukui Yumiko
福井 由美子さん

兵庫県立がんセンター

兵庫県の都道府県がん診療連携拠点病院として最良のがん治療を提供するために、がん関連の資格を持った薬剤師を中心に抗がん剤の適性使用の推進はもちろん、緩和医療や感染対策、栄養サポート、リスクマネジメントなどチーム医療の分野でも、薬学的立場から職能を発揮しています。



明石市



Ueda Rie
上田 里恵さん

兵庫県立尼崎総合医療センター

730床48診療科、50名を超える薬剤師が在籍しています。全病棟への常駐をはじめ、手術室サテライト薬局や患者サポートセンター、がん化学療法室への常駐とともに、感染・栄養・緩和・術後疼痛管理・褥瘡・せん妄・心不全・災害医療等々、薬剤師が必要とされる医療チームに積極的に参加し活動しています。



尼崎市



Yokota Minako
横田 聖子さん

兵庫県立丹波医療センター

約20名の薬剤師が在籍。調剤や服薬指導、医薬品の管理・供給、医薬品情報の提供などを通じて、患者さん一人ひとりのQOLの向上に努めています。また、医療情報システムと連動したより高度な「調剤支援システム」や「注射薬調製支援システム」を導入しており、より安全な医療の提供を実現しています。



丹波市



Nishikubo Natsuko
西窪 奈津子さん

兵庫県立西宮病院

救命救急センター、腎移植センターを併設する総合病院で、病棟業務やチーム医療に取り組んでいます。外来抗がん剤治療ではお薬手帳を活用し安全で適切な治療を継続できるよう積極的に保険調剤薬局と連携を図っています。2026年には市立病院と統合し新病院となるため、その準備を進めています。



西宮市



Honma Kumiko
本間 久美子さん

兵庫県立はりま姫路総合医療センター

2022年に開院。736床、約1,400名の職員を有する県立病院です。50名を超える薬剤師が多職種によるチーム医療に積極的に携わり、現在は緩和ケア、NST(栄養管理)・褥瘡、心臓リハビリ、院内感染対策チーム(ICT)、抗菌薬適正使用チーム(AST)、糖尿病教育などの医療チームに参加しています。



姫路市

兵庫県内で県立病院は全10施設、そのうち5施設の薬剤部の薬剤部長を本学の卒業生が務めています。今年9月、そんな卒業生の皆さまを迎え、北川学長との座談会を開催しました。県民の命を守り、健康を支えるプロの言葉や考え方に直接触れられる貴重な機会になりました。

座談会の最後に北川学長は、「病院で求められる薬剤師の仕事は近年ますますの広がりを見せ、医療チームでの存在感も年々大きくなってきています。医療の最前線で活躍する皆さまとの意見交換を通じて、そのプロフェッショナルリズムに感銘を受けるとともに、『薬剤師として病院で働くこと』のやりがいや魅力を改めて知ることができました。今後の学生たちへの指導、カリキュラムの編成などにしっかりと生かしていきたいと思えます」と語りました。

また次々ページでは、今回の座談会や個別の取材で、皆さまにお答えいただいた内容をまとめ、掲載しています。薬剤部長たちの言葉から、兵庫県立病院で薬剤師として働くやりがい、本学で学ぶ魅力を知り、感じてください。

**兵庫県立病院で
薬剤師として働く魅力**

入職1年目は、マン・ツーマンで指導員が全面サポート。
多様な研修で質の高い医療サービスを提供できる人材を育成。

**生業人材育成
プラン**

**プロフェッショナルな
戦略**

**キャリア
プラン**

**業務適正化
プラン**

リスク管理委員会、業務標準化推進委員会、教育研修委員会の三本柱で共通マニュアルによる薬剤部業務を実施。

職員から主任、次長、部長へ。ワーク・ライフ・バランスを大切にして、自分らしく、長く働ける。

2022年度卒業生
兵庫県立病院入職実績
兵庫県立西宮病院
兵庫県立はりま姫路総合医療センター
兵庫県立丹波医療センター
兵庫県立淡路医療センター
兵庫県立こども病院

兵庫県立病院で働くやりがい、神戸薬科大学で学ぶ魅力などを語ってもらいました。

Honma Kumiko

学生時代を振り返って

神戸薬科大学の先生はやさしい方ばかりで、わからないことがあれば、理解できるまでとことん教えていただきました。みなさんとても気さくで、いろいろな話をした記憶があります。また、勉強に疲れた時には、友人と岡本でお茶をしたり、王子動物園で観覧車に乗ったり、のんびりと過ごしていました。全部、よい思い出です。

兵庫県立病院で働く魅力

すべての病院を集めると、200名を超える薬剤師が所属する大所帯で、たくさん先輩や同僚たちと切磋琢磨できる環境があります。さらに、多職種と連携することも成長への刺激になります。また多くの病院で、最新の設備やシステムが整えられているのも大きな特長で、よりよい環境のもとでさまざまな業務をすることができます。

後輩へのエール

まずは、「学生をやりきること」です。今しかできないことをたくさん経験して、よく勉強することは一生の財産になり、将来の自分を支えてくれる土台にもなります。時には勉強や研究、いろいろなことが思うようにいかず、悩む日もあるかと思いますが、心身を大事にして、しっかりとがんばっていきましょう。

Nishikubo Natsuko

学生時代を振り返って

吹奏楽部でクラリネットを吹いていました。定期演奏会に向けて練習を重ねた日々、仲間たちと過ごした時間は、私を人としても成長させてくれました。合宿をしたり、吹奏楽連盟の行事に参加したり、よい思い出がいっぱいです。また、岡本駅の周辺にはおしゃれなお店がたくさんあって、学生も多く華やかで毎日楽しく通っていました。

兵庫県立病院で働く魅力

薬剤師の資質向上を目的とした取り組みや研修が充実していて、新人でも早くから病棟業務を開始します。患者さんと直接向き合い、適切な薬物治療を提案することで少しでもよくなったと感じていただくことが、病院薬剤師のやりがいに繋がっていると考えられています。

後輩へのエール

これからは、病院薬剤師の活躍がますます期待される時代になります。「病院で働く薬剤師になってみたい」という気持ちがあれば、ぜひ、チャレンジしてください。チーム医療の一員として治療に貢献できる、このやりがいに満ちた仕事を一緒に楽しみ、おもしろい経験が、たくさんの人を笑顔にしましょう。

Fukui Yumiko

学生時代を振り返って

硬式テニス部での活動に明け暮れる日々を送っていました。朝早くから暗くなるまで練習をして、スコート姿で授業を受けるなんてこともありました。4年次生からは研究もスタートし、ゼミでは友人たちと楽しく学んでいました。部活動やゼミで出会った友人たちは、今でも変わらず、私をやさしく支えてくれるかけがえのない存在です。

兵庫県立病院で働く魅力

医師や看護師以外の職種もそろっていることは、大きな魅力のひとつだと思っています。年齢層も広く、異動もあるため、多彩な職種の職員と関わる機会に恵まれ、薬剤師とは異なる視点からさまざまな考え方や技術を学べます。また、意見や提案を尊重してもらえるところも魅力的で、とても働きやすい職場だと実感しています。

後輩へのエール

兵庫県立病院はそれぞれ役割が異なりますが、県民のみなさまにより安全で適正な医療をお届けできるように日々、努力を重ねています。また、これから学んでみたいこと、興味のある分野に携わりながらステップアップできる環境が整っていますので、薬剤師として一緒に大きく成長しましょう。みなさん、ぜひ、ご応募ください。

Ueda Rie

学生時代を振り返って

希望がなくなって薬大生となり充実した楽しい大学生活でした。実験では一番に成功するために予習の時間を惜みず、チーム一丸となりがんばっていました。有機化学の実験で失敗が続き、一度だけ帰宅が遅くなったことがありますが、そのおかげで素晴らしい夜景を観ることができ、そのことがすごくよい思い出になっています。

兵庫県立病院で働く魅力

県立病院一筋36年、総合・専門6病院で8回の異動を経験し、医師や看護師、栄養士など素晴らしい仲間と出会いました。糖尿病患者指導やこども病院での小児がんへの関わりはチーム医療として非常にやりがいを感じました。県立病院は、自分のやる気次第でやりたいことができる環境が十分に整っており大きな魅力と感じています。

後輩へのエール

薬剤師の病院での業務は今後ますます拡大し、今以上にやりがいが増してくると思います。まずは、「自分が何をやりたいのか、どんな業務が向いているのか」を真剣に考えて、それにかける意欲をしっかりと見せてください。やる気が伝われば、必ず希望の仕事に就けるはず。みなさんとお会いできる日を楽しみにしています。

Yokota Minako

学生時代を振り返って

必ず薬剤師となって卒業後すぐに働きたいと思っていたので、国家試験に向けて勉強に励んでいました。神戸薬科大学は単科大学ということで、同じ目標に向かってがんばる学生たちの姿がとても刺激的で、いつでも真摯に学業と向き合う彼女たちの存在が、日々の学生生活をさらに充実したものにしてくれました。

兵庫県立病院で働く魅力

県立病院は合わせて10施設あります。さらに大型病院から地域に根差した病院まで幅広く、それらを数年単位で転動しながら多くの疾患と向き合うことができます。また、専門病院でより高度な専門性を身につけ、それらを総合病院で生かすこともできるなど、より多様性に富んだキャリアを積むことが可能です。

後輩へのエール

今、病院勤務を希望する薬剤師が減っており、全国的に人材の確保が問題となっています。神戸の大学で学んでいるみなさんには、ぜひとも兵庫県立病院を志望し、兵庫県の医療に貢献していただきたいと願っています。そして、さまざまな病院でしっかりと研鑽を積んで、立派な薬剤師へと成長してください。



Event Report



OPEN CAMPUS 7月30日(日)・8月5日(土)・6日(日)の3日間、夏のオープンキャンパスを実施しましたが、好評につき、新たに10月1日(日)の日程で開催いたしました。学生たちと対話を楽しんでいる高校生の姿が多く見受けられました。

Information

人事・組織機構改正

【採用】



助教 市野 琢爾 (医薬細胞生物学研究室) 2023年5月1日付
教授 首藤 信通 (医療データサイエンス研究室) 2023年9月1日付
事務員 清谷 真子 (事務局総務課) 2023年9月1日付
主査 深谷 一元 (事務局施設課) 2023年10月1日付
事務員 谷脇 光留 (事務局企画・広報課) 2023年10月1日付

【退職】(依願退職) 課長 加島 進(学生部学生課)(以上2023年6月30日付) / 講師 西村 克己(総合教育研究センター(支援部門)) / 課長補佐 杉浦 佳子(入試部入試課) / 事務員 山内 正信(事務局施設課)(以上2023年7月31日付) / 課長補佐 橋本 和歌子(学生部学生課)(以上2023年8月31日付) / カウンセラー 前田 聖津子(学生相談室)(2023年10月16日付)

【異動】 課長 舟辺 隆之(学生部学生課(キャリア支援部キャリア支援課長兼務)) / 主査 石井 知恵(事務局経理課(事務局総務課から)) / 係長 樋渡 郁哉(学生部学生課(事務局経理課から))(以上2023年7月1日付) / 主査 藤田 光治(入試部入試課(事務局企画・広報課から)) / 係長 細野 佑樹(事務局企画・広報課(入試部入試課から))(以上2023年9月1日付)

【組織機構改正による異動】

総合教育研究センター(臨床部門)医薬品評価学研究室(総合教育研究センター(臨床部門)から)教授 沼田 千賀子・講師 猪野 彩・講師 竹下 治範 / 総合教育研究センター(臨床部門)実践薬学研究室(総合教育研究センター(臨床部門)から)教授 白木 孝・准教授 河内 正二・講師 富田 淑美 / 総合教育研究センター(臨床部門)薬効解析学研究室(総合教育研究センター(臨床部門)から)教授 國正 淳一・講師 藤波 綾(以上2023年10月1日付)

【解嘱】 内部監査室長 加島 進(2023年6月30日付) 【委嘱】 内部監査室長 灰谷 淳治(2023年7月1日付)

受賞・賞・表彰

- 内藤 猛章 名誉教授「2023年春の叙勲 瑞宝小綬章」(2023年4月29日付)
- 山本 克己 臨床特命教授「令和5年度憲法記念日大阪府知事表彰」(2023年5月3日付)
- 6年 檀上 早希 薬理学研究室「日本薬理学会第38年会永井財団学部学生七つ星奨励賞」(2023年5月17日付)
- 6年 藤原 由佳理 総合教育研究センター(臨床部門)「第16回日本緩和医療薬学会年会最優秀ポスター発表賞」(2023年5月28日付)
- 6年 藤原 由佳理 総合教育研究センター(臨床部門)「日本医療薬学会第6回フレッシュャーズ・カンファランス優秀演題発表賞」(2023年6月11日付)
- 6年 高橋 大 総合教育研究センター(臨床部門)「日本医療薬学会第6回フレッシュャーズ・カンファランス優秀演題発表賞」(2023年6月11日付)
- 小池 敏靖 助手 生化学研究室「Carbohydrate Research JSQR42 Poster Award」(2023年9月9日付)
- D4 潤井 みや(医薬細胞生物学講座)「第17回次世代を担う若手医療薬学シンポジウム優秀発表賞(口頭発表の部)」(2023年9月17日付)
- 西村 尚剛 監事「2023年秋の叙勲 瑞宝中綬章」(2023年11月3日付)

寄付

I&H株式会社 株式会社大阪ソーダ 株式会社サエラ 株式会社メディカルー光 内藤猛章



神戸薬科大学 公式チャンネル

Event Calendar

2023.4 April - 2023.9 September

■ オンライン ■ ハイブリッド
①②③④⑤⑥の数字は対象年次を示しています。

- 4 3 入学式
- 4 ⑤ 病院・薬局実習受講説明会 (2期-3期グループ、3期-4期グループ)
- 5 ④ ビジネスマナー講座
④ ワークスタディプログラム受講説明会
- 6 前期開講日
- 10 ④⑤ 「インターンシップ・仕事体験」
エントリーシート の書き方ガイダンス
- 27 第91回創立記念日
- 5 10 ④⑤ 就活実践セミナー
仕事研究講座I(品質保証職)
- 15 ⑤ 就活メイクアップ講座
④⑤ 言語・非言語能力検査 受検会
第24回公開市民講座(5/15~5/29)
- 17 ④⑤ 仕事研究講座II(MR職)
仕事研究講座III(臨床開発職)
- 19 ④⑤ 関西3大薬科大学共同企画
「製薬企業理解セミナー」
- 22 ⑤ 病院実習・薬局実習開始
(2期:5/22~8/6)
- 6 3 TOEIC L&R IPテスト
- 7-9 ⑥ 卒業研究発表会(全3日)
- 17 ④⑤ ワークスタディプログラム
学内選考会(面接)
- 24 ④ ワークスタディプログラム
事前説明会・報告会うちあわせ会
- 7 6 学内共同研究公開報告会
- 10 ③~⑥ 前期定期試験(10日間)
- 24 ①② 前期定期試験(8日間)
- 30 オープンキャンパス
- 8 5-6 オープンキャンパス
- 21 ⑤ 病院実習・薬局実習開始
(3期:8/21~11/5)
- 28 ①~③ 5大5大学共同企画
「製薬企業理解セミナー」
① 前期追再試験(5日間)
②~⑥ 前期追再試験(7日間)
- 9 2 ①~④ 3薬科大学合同
「公務員職種理解セミナー」
- 4 ① 初期体験臨床実習
- 11 ①② 後期開講日
- 22 ⑤ 病院・薬局実習報告会
(1期-2期グループ)
- 25 ③~⑥ 後期開講日